

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	パフィア抽出液A
整理番号	F-126
会社名	松浦薬業株式会社
担当部署	信頼性保証部
住所	愛知県名古屋市昭和区円上町24-21
電話番号	052-883-5157
FAX番号	052-883-5137

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
健康有害性

引火性液体	区分3
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2A
生殖細胞変異原性	区分1B
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（気道刺激性 麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（肝臓） 区分2（神経）

環境有害性

区分外か分類できない。
上記に記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H226 引火性液体及び蒸気
H319 強い眼刺激
H340 遺伝性疾患のおそれ
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気またはめまいのおそれ
H372 長期にわたる又は反復ばく露による肝臓の障害
H373 長期にわたる又は反復ばく露による神経の障害のおそれ

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
含有する指定化学物質の名称

混合物
エタノール 含有率：約40v/v%
本品は、Pfaffia glomerata、P. iresinoides 又はその他同属植物（Amaranthaceae）の根を含水エタノールで抽出して製したデキストリンを含有するパフィアエキスパウダーを含水エタノールで抽出して製した抽出液。

4. 応急処置

目に入った場合
皮膚に付着した場合
多量に吸入した場合
飲み込んだ場合

直ちに清浄な流水で10分以上洗眼する。
石鹼で充分洗浄後、水洗いする。
患者を空気の新鮮な場所に移し、安静にする。
口をすすぎ、コップ1～2杯の水を飲ませて希釈する。
以上の措置後、症状が改善しなければ医師に連絡をとり、必要に応じて手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法
消火剤

初期の火災には大量の水噴霧、又は消火器による消火を行う。
水、消火器（粉末、炭酸ガス、アルコール用消火器）

6. 漏出時の措置

少量の場合は、大量の水で洗い流す。流出物が河川、水路等へ流れ込まないように注意する。
多量の場合は、産業廃棄物として処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

みだりに火気、その他点火源となる恐れのあるものへの接近、若しくは蒸発、又は加熱しないこと。

保管

こぼしたり付着したまま長時間経過すると、ふき取りにくくなる場合があるので、早めに取り除くようにする。
火気その他危険な場所から遠ざけ、温度遮光に注意し室温で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

適切な保護具（マスク、手袋等）を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

性状

本品は淡褐色～褐色の液体である。

比重

d 約1.00

アルコール含量

約40 v/v%

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の条件下では安定である。

避けるべき条件

高温への暴露

危険有害な分解生成物

燃焼などによりCO等の有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性

本品での知見なし。

変異原性

参考100%エタノールのデータを示す。

ラット（経口）：LD₅₀ 7,080mg/kg

発癌性などについての情報は特になし。

12. 環境影響情報

本品での知見なし。

参考100%エタノールでの生分解性は良好で、蓄積性もない。一方、水中では、高濃度で水中生物に影響を生じる。

13. 廃棄上の注意

少量の場合は、大量の水で洗い流す。
多量の場合は、産業廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意

漏れのないことを確かめ、落としたり、粗暴な取扱いをしない。
取扱い及び保管上の注意の項に留意する。

15. 適用法令

食品衛生法

16. その他

引用文献等

南米薬用植物ガイドブック（南米薬用ハーブ普及会）

メディカルハーブ安全性ハンドブック（東京堂出版）

FOOD Style 21（Vol.5 No.10）

専売アルコール製品安全データシート（日本アルコール販売株式会社）

GHS混合物分類システム（平成25年度版 ver.2.0）

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関しては、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上でお取扱い願います。